広報 まちだ
第1327号
2002年（平成14年） 5／21
発行・町田市　編集・企画部広報広聴課
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月３回１の日（１日、11日、21日）
ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

市の宣言
◇男女平等参画都市宣言
◇非核平和都市宣言
◇青少年健全育成都市宣言
◇交通安全都市宣言

懇談会の冒頭であいさつに立つ寺田市長

町田市・相模原市
首長懇談会を開催

高齢者福祉センターの相互利用等４項目を合意

町田市・相模原市首長懇談会が5月9日、相模原市杜のホールはしもとで開催され、寺田市長と相模原市の小川市長が意見交換を行いました。

町田市と相模原市は、境川を挟んで接しており、文化、経済、交通などで密接なつながりがあり、一体となった生活圏が形成されているとともに、境川の清掃や演奏会の合同開催など住民間の交流が活発に行われてきています。このため、共通する行政課題への対応や市域を越えた市民サービスの充実が一層求められています。

こうしたなかで、両市の首長懇談会は平成5年から開催され、今回で10回目になります。

これまでの懇談会では、図書館、宿泊施設の相互利用や災害時における相互応援などの事業の実施を合意し、成果を上げてきました。

今回の懇談会では、新たな交流・連携事業として、①両市の高齢者福祉センターにおいて、60歳以上の高齢者を対象に、大広間や風呂等の一般利用に供する施設の相互利用を実施する②総合計画、市史、教育史、議会史、公共施設のパンフレットなど両市が発行する行政資料を交換し、「市政情報やまびこ」（町田市）及び「行政資料コーナー」（相模原市）への配架を行う③大学の知的資産を活用した地域連携の仕組みづくりを進めるため、両市及び周辺の大学やNPO等で実行委員会を組織し、地域のニーズや資源についての調査研究を行う④地方分権が進展する中、より主体的なまちづくりを進めていくため、職員合同による研究会を組織し、両市から都県や国に向けた情報発信を行う――の4点について合意しました。

また、駅前や公共施設等への落書き防止対策、安心して暮らせるまちづくり、地域コミュニティーの活性化や行財政問題など、幅広い意見交換を行いました。

最後に、今後も都県境を越えて豊かな市民生活を実現するため、共通する広域的な課題の解決に積極的に取り組むなど、両市の連携・協力を一層深めていくことを確認しました。

- ●高齢者福祉センターの相互利用
- ●行政資料の相互配架
- ●大学との連携方策の調査研究
- ●両市職員による合同研究会の設置

「障がい者」に表記を改正

市では、障がい者に対する差別感や偏見をなくし、心のバリアフリーを推進するため、今後、市が作成するガイドブック、案内書、予算書等の「障害者」の表記を「障がい者」に改正します。

また、これまでに制定した条例・規則については見直しを行い、今年度中に改正作業を終了する予定です。

なお、国の法令、町田市以外の条例・規則等に基づく制度、施設名等の固有名詞は従来どおりです。

お問い合わせは福祉総務課（☎724・2133）へ。

町田サルビアロータリークラブ
“町田景観まっぷ”を発行しました
23日から無料で配布

東京町田サルビアロータリークラブ（依田淳一会長）がこの程「町田景観まっぷ」を発行し、市に寄贈、5月23日から希望者に無料で配布することになりました。

この「まっぷ」は、同ロータリークラブの創立15周年記念事業として作成されたもの。市民からの情報等を参考に、市内の景観が良い場所を紹介したもので、82か所をポイント表示し、内39か所は写真で取り上げています。また、「まっぷ」をガイドとして歩く方のために、施設、公園、社寺、文化財、古道なども地図に落としてあります。

ご希望の方は、市役所市民相談室、南・なるせ駅前・鶴川・忠生・堺の各市民センター、木曽山崎・小山の各センター、市民課駅前連絡所へ。

お問い合わせは同ロータリークラブ事務局（☎729・1122）へ。

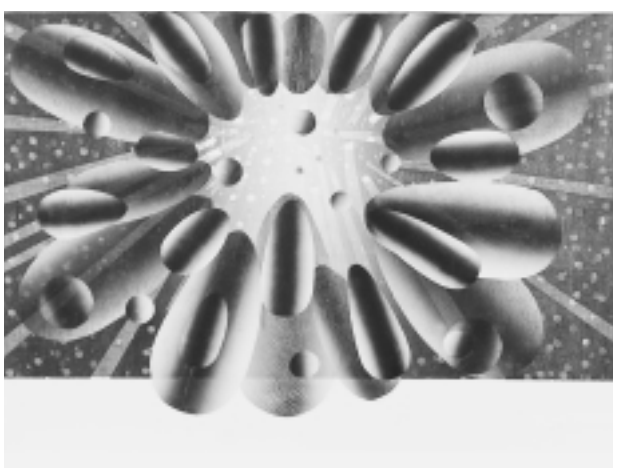
吹田文明展
光の跡をたどる
6月1日(土)～7月21日(日)
国際版画美術館　☎726・2889

休館日　月曜日
開場時間　火～金曜日　午前10時～午後5時（入場は午後4時30分まで）
土・日・祝日　午前10時～午後5時30分（入場は午後5時まで）
観覧料
一　般　400円
大・高校生・65歳以上　200円
小・中学生　無料
※展覧会初日（6月1日）は無料観覧日です。

◇

吹田文明（1926～）は現代を代表する木版画家の一人です。広い会場の展示にふさわしい大画面の版画制作を念頭に置き、斬新な技法を駆使して伝統的な木版画の概念を破る抽象版画を次々に発表しています。徳島県に生まれ、東京の小学校で図工教育に情熱を注ぐ中から、独自の版画表現を獲得していきました。広遠な空や宇宙にきらめく光をテーマとし、花火を思わせる光線や虹、色鮮やかな球体を表現した作品は国際的に高く評価され、サンパウロ・ビエンナーレ展をはじめ、多くの国際展で受賞しました。大学を舞台とする版画教育でも大きな成果を上げています

本展覧会では、制作の最初期である1950年代から現在まで、各年代の代表的作品約90点を展示し、吹田の画業を一望します。


吹田文明「銀河へB」　木版多色　600×890㎜　1983年

The Prints by Fumiaki Fukita

同時開催
6月16日まで　版画いろいろ・文明開化の女性たち
6月19日(水)～9月16日(休)　シェイクスピアの世界
※入場は無料です。

R100 本紙は古紙配合率100%・白色度70%再生紙を使用しています。ごみの減量と資源化にご協力を